

## 自己評価結果公表について

放課後等デイサービスRaise

「自己評価結果公表の7つの項目」についての会議を行いましたので、以下その内容を公表いたします

会議日： 令和5年1月30日

公表日： 令和5年2月28日

	検討事項	会議内容
①	利用する障がい児及びその保護者の意向、障がい児の特性、障がい特性、その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の設備の状況について	登録人数：34名 1日の利用人数：平均約13名 保護者の意向については、初回の面談・アセスメントにて聞き取り調査や紙面にて調査を行っております。また、保護者との面談を定期的に行い、お子さんの状況に合わせて個別支援計画を立てています。
②	従業員の勤務の体制及び、資質の向上のために取り組みの状況について	常勤職員6名、非常勤職員2名の8名体制。 月1回の事業所内研修および、放課後等デイサービスMogen、保育所等訪問支援事業所レコモとの合同研修も月に1回行っており、職員一人一人の能力を伸ばしているような取り組みを行っています。 また、専門職を集めたOT研修も月に2回実施しています。
③	事業の用を共する設備及び、備品等の状況	プレイルーム、学習室、おやつ部屋など活動に応じて使用する部屋を分けています。 クールダウン部屋も準備しており、気持ちが落ち着かないお子さんなどの対応等でも利用しています。サーキットやプレイルームで使用する物品も定期的に新しく購入し、活動の幅を広げています。
④	関係機関及び地域との連携、交流等の取り組みの状況	年に1回、保護者会を行っています。 イベントや勉強会、茶話会などを実施し、保護者同士のつながりを作っています。 保護者や学校からの依頼により、学校訪問や連携会議を行っています。 また、保育所等訪問支援の実施で学校や保護者との連携を強化しています。
⑤	利用する障がい児及びその保護者に対する必要な情報提供、助言その他の援助の実施状況	定期的に事業所での面談を保護者と行っており、その際に相談援助を行っています。 また、保護者とLINEや電話等でのやり取りも積極的に行い、お子さんの様子をこまめにお伝えしています。 事業所での支援記録を毎月保護者にお渡ししています。
⑥	緊急時における対応方法及び非常災害対策	年に1回ずつ防犯・防災の職員研修を実施。 年に1回ずつ防犯・防災訓練を施設内で実施しています。 施設内には、災害時の避難場所を常に掲示しています。 訓練を実施し、課題があれば職員間で話し合いを行い、次回に向けて準備しています。
⑦	業務の改善を図るための措置の実施状況	職員間の役割分担を明確にし、業務がスムーズにいくように工夫しています。 また、ICTやSNSを積極的に使い、記録やお子さんの様子などの情報交換を行っており、業務時間の短縮を意識して行っています。

## まとめ

検討結果	現在、行っている取り組みを今後も継続していく必要がある。 また、足りない部分に関して、職員間で改善点を話し合える環境にしていく。
自己評価	サーキット、学習、プレイルームを枠組みのある活動を提供していき、各活動に担当職員を決めていくことで、お子さんの変化や様子などが把握しやすく断続的な支援につながっている。 今後は、活動内容等は職員全員で話し合いながら検討していくことで、お子さんが「楽しい」「できた!」と思える活動内容を提供していきます。 また、作業療法士による個別を実施しており、必要に応じて評価やお子さんがどこに困っているのかなど分析を行っています。
改善目標	職員の知識や経験を増やしていくための研修への参加の増加 外部研修などに積極的に参加し、研修の報告や内部研修に活かしていく 引き続き、職員全員の療育としてのレベルアップ 緊急時の対応の再認識、緊急時を想定した準備の再確認 子どもたちが「楽しい」「できた!」と思える環境づくり 進学等を見据えた地域に密着した支援を行っていく。